

第3回釧路市教育推進基本計画策定委員会

日 時：令和4年11月29日（火）14:00～15:00

場 所：釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞 特別会議室 801

出席者：別添座席表のとおり

関係資料：資料 釧路市教育推進基本計画素案（案）

1. 開 会

2. 議 事

（1）釧路市教育推進基本計画の素案（案）について

○事務局より「本計画の特徴」と「第1章計画策定の基本的な考え方」の説明。その後、「第2章施策の推進」については、「基本方策」毎に説明を行い、都度、各委員から質疑の有無について確認を行った。

■第1章 計画策定の基本的な考え方（P2～P8）

◇委 員

副題の部分と、本文にも関わるところの表記の質問なのだが、「子どもたちの『生きる力』の「子ども」というところの副題から始まって、本文が全部、子「ども」が平仮名表記になっているかと思う。今の流れは、文科省と釧路市並びに釧路市教育委員会から出されているものは漢字表記が主流で、道教委は子「ども」表記だったかと思う。今年度の教育行政方針等の市教委から出ているものは漢字表記でずっときていたので、私の学校は市教委に合わせてきたが、今回から、表記をこのように変えたということによろしいか。

◆事務局

ご指摘のとおり、今回、平仮名で「ども」とさせていただいているが、実は、1期目の計画では平仮名である。2期目の計画で漢字になって、今仰られたように、国は漢字、道は平仮名、市は漢字を使ったり平仮名を使ったりというところで大変議論をしたところである。最終的に、平仮名を採用させていただいたところであるが、持ち帰って、改めて漢字を使うか平仮名を使うかというところは検討させていただければと思う。

◇委 員

確認したいのだが、6Pの教育目標の件の2つ目の「伝統と文化を大切に主体的に学び続ける人づくり」の部分で、漢字で「び続ける」の方がしっくりくるのだが、釧路市のこの目標については平仮名で表記されてきていると思う。色々な資料を見ても、前回の資料を見ても「びつづける」と平仮名で表記されているので、統一した方が良いのではないかと思った。

◆事務局

ご指摘の部分を確認させていただいて、然るべき整理をしたいと思う。

■第2章 施策の推進（P10～P32）

◎基本方策1 生きる力を支える学力の向上（P10）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策2 社会の変化に対応する力の育成（P11～P14）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策3 特別支援教育の充実（P15）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策4 心の教育の充実（P16～P18）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策5 生徒指導の充実（P19～P21）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策6 体力・運動能力の向上（P22）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策7 健康・安全・防災教育の充実（P23～P24）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策8 安全で快適な教育環境の充実（P25）

◎基本方策9 魅力ある学校づくり（P26～P27）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策10 教職員の資質能力の向上・働き方改革（P28～P29）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策11 学校間の連携・協働（P30～P31）

⇒⇒ 各委員から意見・質問等なし。

◎基本方策12 家庭・地域と学校の連携（P32）

◇委員

基本方策12「家庭・地域と学校の連携」の部分で、特に大切だというお話があった。私も本当にそのとおりだと思っている。達成目標の中にも、コミュニティ・スクール導入の学校を目標100%と書かれていて、今年度も進められていると思う。ただ、今現在、中央校区でいうと、北中・青葉・中央と、それぞれのコミュニティ・スクールとなっている。これが、小中連携になるので、中学校区で一つのコミュニティ・スクールを考えているのか、それとも、あくまでもこれは、単独のようなものがこの先5年間続くのか。中学校区で一つのコミュニティ・スクールということで、小中連携の意味も大きく変わるかと思うので、どのようなイメージなのかも教えていただけたらと思う。

◆事務局

今進めている小中連携と、コミュニティ・スクールの設置のあり方みたいなものが、コミュニティ・スクールの方が先に始まっているものだから、少しズレが生じているところがあるかとは思っている。ただ、地域と一緒にやるということは、どの地域でも同じ取組といえればおかしいが、中学校区としてやることは理想的であることから、現段階では、学校を核とした地域との繋がりということで、今のところ進めていきたいなと思っているが、今後の検討の中で、コミュニティ・スクールのあり方等も話題に出しながら考えていきたいなと思っている。

◇委員

実際のことをいうと、コミュニティ・スクールの委員さんも結構かぶっており偏りがある。多様な人材のこれからの確保となると、高齢化も含めて課題も出てくるので、ぜひご検討いただきたい。

◇委員

コミュニティ・スクールの話で、結論は出たとは思いますが、国の方策として、コミュニティ・スクールが導入された時に、最終的には中学校区で行うということで最初に構想を立ててあって、まずは、それぞれがやっていきたいと思いますということになっているので、いずれは、そちらの方向に向かっていくのだと思うし、現在、どんどん増やしている中でも、適当に増やしているのではなくて、ある程度、中学校区のことを考えながら進めているので、その方向にはなっていくと思う。問題は、このあとは、学校として、コミュニティ・スクールをやっていきたいなという動きが、委員さんが誰になるべきかとか、一緒にやってもらえる委員さんが誰かいませんかということが鬼門となってくると思うので、そのあたりを考えながら進められていくと良いのではないかと思います。

◇委員

28Pの方策10、達成目標が2項目あるうち、「釧路教育研究センターや北海道立研究所等、学校外の研修講座等（オンラインも含む）に年2回以上参加した教員の割合」の達成目標が100%に設定されていてよろしいかと思うのだが、下段の『『釧路市授業マイスター』の授業を参観した教員の割合』も目標100%であるが、ここも、オンラインというか、「授業交流サイト」という釧路市の小中学校教員のみが観ることができるサイトがあり、そこで、マイスターの授業を先生方が自由に観られる仕組みとなっているのだが、それも含めて、全員、最低1回以上観ましょうということの抑えでよろしいのか、それとも、ここはオンラインの文言が入っていないので、実際に、マイスターの授業を生で必ず参加をして100%にしましょうということのどちらを事務局として目指しているのか教えていただければと思う。

◆事務局

オンラインの授業サイトでの視聴も含めて、ぜひ授業マイスターの授業を観ていただいて、自己研鑽に努めていただきたいと思いますと考えている。

◇委員

基本方策12「家庭・地域と学校の連携」で良かったなと思っているところがある。施策項目の「部活動の地域移行に向けた指導体制の構築」のところ、地域との連携をどうしていくのかとい

うことが学校現場での大きな課題だと思っていた。コミュニティ・スクールの枠組みだけではなく、地域のことを考えていく、検討していこうということの学校現場からの投げかけをここに置いたことは大きいと思う。あとは、社会奉仕というか、その方面から、その体制を作っていかなければならないと思うのだが。そういう意味では、ある視点がここに入ったなということで良かったなと思った。それから、基本方策6「体力・運動能力の向上」の取組のところ、大変すっきりした形になったなと思った。学校が、これだけ取り組んでいかなければならない、それに向けて教育委員会がこのようにしていきますよ、ということがここで明らかになって、取り組みやすくなったのではと思う。地域が、体制が整っていない中で預けて成果が上がらない状況になったら困るなど思って前回お伝えしたのだが、すっきりしたなと思った。そして、「1週間における体育の授業以外の運動やスポーツの合計時間が1時間以上」の成果指標項目のところであるが、前回策定委員会の指標説明の中で、これを調べて大丈夫なのかなと思っていたところがあったのだが、ここに絞ったことと、1時間「以上」としたことが良い指標設定だなと思った。マイナス面を見るのではなくて良い方向に評価する方が、ちょっと気持ちが楽になるのではないかと感じた。

◆事務局

体力のところは、たくさんご意見を頂いたところで、大変悩んだところ。部活動の部分や、我々が行政としてできることはなかなか難しく、そういう部分で、それぞれができることをそれぞれの立場で授業改善をやっていく、地域は地域でそういう場を設定していく、子ども達は自分として前向きにスポーツに向かっていくというふうな整理をさせていただいたのと、それから、部活動の項番を体力のところから地域のところで置かせていただいたところである。

◇委員

それぞれ頁の下欄に、※で詳しい用語の説明が書いてあって、非常にわかりやすいなと思って見ていた。ただ一点、細かなところで恐縮なのだが、28Pの「授業交流サイト」の説明が下にない。確認はしていたものの、ただ抜けているだけだとは思うが。

◆事務局

再度、全体を確認させていただきたい。

□委員長

達成目標は成果指標になる。具体的にしっかり細かく書いていただいて、取組に対する本気の度合いを感じさせていただいたところである。厳しい数字が出てくるかもしれないが、それに向けて、ぜひ次々と手を打って良い状況にしていただければと思う。まだ何か言い忘れていることであるとか言い足りないことがあれば、シートなどで事務局までお願いしたい。

(2) その他

○事務局より、今後のスケジュールについて説明。

3. 閉 会